

## 奈良市まちづくり市民会議（第3回）概要記録

■日 時： 平成21年11月27日（金）午後7時00分～午後9時00分

■場 所： 奈良市役所 中央棟6階 正庁

### ■プログラム：

1. 開会
2. 前回の振りかえり（分科会テーマの最終確認）
3. 分科会設置及びメンバーの決定
4. グループワーク（分科会ごと）『奈良市のテーマ別将来都市像づくり（1）』
5. 閉会

### ■会議資料：

- ①奈良市まちづくり市民会議 分科会テーマ一覧
- ②奈良市まちづくり市民会議（第1回） 市の現況への質問回答（追加分）
- ③奈良市まちづくり市民会議（第1回） 市の現況への質問回答 資料  
（追加分：資料78-1）
- ④奈良市まちづくり市民会議 第8回会議日程変更のお知らせ
- ⑤奈良市まちづくり市民会議（第3回）のふりかえり
- ⑥参考資料「平成20年度 ペットボトル引き渡し月別一覧」、「平成20年度 ガラスびん引き渡し月別一覧」

※①は事前に配布、②・③・⑥は受付時に配布、④・⑤は会議中に配布。

### ■出席者：

#### 【市民公募委員】45名（欠席7名）

アダルシュ シャルマ、阿部 智子、井上 雅由、植田 正博、上野 登統、榎本 正範、  
岡本 胤継、奥村 麻希子、北 良夫、北浦 由香、木村 宥子、熊野 磯一、小島 道子、  
小西 完治、笹部 和男、佐藤 正幸、澤崎 嘉造、四反田 喬典、新堂 順規、高松 典正、  
田北 ますみ、武村 俊宏、多田 充朗、田中 保夫、谷 幸三、反田 博俊、中川 徹、中西 輝、  
橋本 光男、長谷川 庸司、畑中 忠司、濱 朝子、濱 恵介、春田 稔、本間 香貴、松永 洋介、  
村田 勝彦、元島 満義、森口 哲也、山本 素世、山本 善徳、吉住 秀、吉田 俊夫、  
寮 美千子、渡邊 新一

【事務局】6名（企画政策課 課長 吉村 武富、主幹 田中 利也、主幹 奥田 喜司、  
主任 木村 和弘、引野 あずみ、山岸 公彦）

【ファシリテーター】6名（山崎 亮、西上 ありさ、醍醐 孝典  
六本木 晃夫、岡田 実成、桐山 法子）

### ■傍聴者：0名



## ■会議の概要：

### 1. 開会

司会（企画政策課 吉村）より説明。

○委員の出欠について：開催時点では、委員 52 名中 42 名が出席。

○事務局の紹介：11 月 1 日付けの人事異動に伴い、事務局に 1 名増員あり。

○会場内でのチラシ等の配布について：

チラシに興味のない人や受け取りたくない人もいるため、会場内で委員に直接チラシ等を配布することは控えていただきたい。なお、会場の出入口付近にチラシ置き場を用意したので、チラシ等を配布したい場合はこちらに各自で設置し、余りは会議終了後回収するようお願いしたい。

○会場内での写真撮影について：

事務局が記録のため写真を撮影することについては、第一回冒頭で委員の了承を得ている。委員の個人的な写真撮影について特に定めはないが、無断で撮影されることに抵抗のある人もいることに配慮し、写真撮影の際には、一声かけてからにするようお願いしたい。

### 2. 前回の振りかえり（分科会テーマの最終確認）

ファシリテーター（西上）が進行。

分科会のテーマ(仮)とそのキーワードについて、事務局（企画政策課 奥田）より説明。

⇒ <会議資料：①奈良市まちづくり市民会議 分科会テーマ一覧>参照。

#### 【説明の概要】

○「観光」というキーワードが、第 2, 3 分科会にある理由：

前は「産業」と「観光」というまとめ方をしていたが、事務局では「観光」には奈良の主要な産業という面だけでなく、歴史・文化資源等の活用という面もあると考え、両方の分科会にキーワードとして挙げた。

○「都市計画」というキーワードが、第 2, 3, 5 分科会にある理由：

第 2 分科会では文化財や豊かな自然があるからこそ開発が進まないという側面があることや、世界遺産のバッファゾーン等の区域設定に都市計画が関連すること、第 3 分科会では産業立地を考える際に都市計画の種々の規制が関連すること、第 5 分科会では交通網の整備等を考える際に都市計画が関連するため、3つの分科会にキーワードとして挙げた。

○各分科会のテーマに「(仮)」とつけている理由：

今回掲げている分科会のテーマ、は事務局がキーワードをまとめる際のイメージを表現するために仮につけたものである。これがそのまま将来都市像になるわけではない。テーマ(仮)に縛られることなく、自由に考えてほしい。

また、分科会のテーマは 6 つあるが、総合計画の施策の柱をこの 6 つに定めているわけではない。

### 3. 分科会設置及びメンバーの決定

各自、希望する分科会のテーブルに移動。

グループファシリテーターが中心となり、各分科会のメンバーが6名以上10名以下(充実した議論ができる人数)になるよう調整し、分科会メンバーを決定。

なお、欠席者のうち、事前に希望の分科会(第3希望まで)の連絡があった委員については、事務局が代理となり調整。(事前に連絡がなかった委員については、会議後に調整。)

⇒ 分科会メンバーは、<グループワークの記録>上覧の参加者欄を参照。

○グループワーク開始前に、委員より事務局に市民会議の位置づけ等に関する質問あり。

【質問の概要】 【凡例】委員意見、事務局意見

- ・総合計画策定委員会と総合計画審議会の現在の進行状況を知りたい。  
市民会議では、将来都市像とまちづくりの基本的方向の提案書を作成すると説明を受けたが、提案書の具体的な内容を教えてほしい。  
今回設定されている6つのテーマと基本構想との関係がわからない。基本構想の構成と、それに市民会議の成果がどのように追加されていく予定なのか。これがわからないと、市民会議の位置づけがどのようなものなのか不安に思う。
- ・後日回答する。

#### 4. グループワーク(分科会ごと)『奈良市のテーマ別将来都市像づくり(1)』

【グループワーク】

- ・分科会ごとに自己紹介(氏名、今何をしているか、この分科会を選んだ動機等)
- ・前回の会議で出た奈良市の「魅力」と「悩み」に追加すべきことがあれば追加したうえで、これらを踏まえて「奈良市がどのようなまちになったらよいか。」(奈良市の将来像)について話し合い。

グループファシリテーターが、話し合いの概要を模造紙に整理。

⇒ <グループワークの記録>参照。

#### 5. 閉会

○委員から、会議の進め方等について意見あり。

【意見交換の概要】 【凡例】委員意見、事務局意見

<会議への市職員の参加について>

- ・分科会での話し合いが深まってきているので、市職員に各分科会のテーブルに入ってもらいたい。委員から質問攻めにあうことや、文句を言われることを恐れて職員は入っていないのかもしれないが、市民会議はそのような場でないというルールを作ったうえで入ってもらえればよい。職員が入って委員の生の声を聞いた方が会議の内容をまとめやすいだろうし、これから計画を作る時にも私たちの声を反映させやすいと思うので、ぜひ入ってもらいたい。
- ・～拍手～ ～「反対」という声～
- ・今回のまちづくり市民会議は市民の会議である。職員が入ると、私たちの言いたいことも言えなくなるので、これは絶対避けてもらいたい。
- ・市職員には議論には入らず、情報提供役として入ってもらう方がよい。私たちは

一般市民であり、専門的な情報や、市の各課題の現場の状況等を詳しく知っているわけではないので、思い込みだけで話し合いを進めてよいのか不安がある。これを少しでも解消するため、分科会のテーマに関連する分野の担当職員が、施策やその現状等の情報を提供する役割に限って、分科会に参加してもらえればよい。

#### <委員の活動紹介について>

- ・**委**様々な活動をしている方が参加しているので、どのような活動をしている方なのかを知りたい。この場を機会につながっていければよいと思う。何らかの活動をしている人は、活動を紹介するチラシやパンフレットがあれば、次回持ってきてチラシ置き場に置いていただきたい。
- ・**事**次回以降もチラシ置き場を設けるので、ぜひ利用してほしい。

#### ○事務局からの連絡：

- ・各分科会の内容を共有するため、会議録はできる限り早く作成する予定だが、より早く委員の手元に届けるため、電子メールでも送付したい。電子メールによる送付を希望する場合は、「ふりかえりシート」にメールアドレスを記入してもらえれば、会議録完成時に郵送と同時に電子メールでも発送する。
- ・第8回会議の日程を、平成22年3月12日(金)から平成22年3月26日(金)に変更。

#### ○会議閉会にあたって：

- ・司会(企画政策課 吉村)から、次回開催予定日、「ふりかえりシート」の記入・提出期限[12月2日(水)]を連絡。

#### 【次回開催予定】

- ・日時：平成21年12月18日(金)午後7時～
- ・場所：奈良市役所 中央棟6階 正庁

## 第1分科会 生きやすいまちづくり

【参加者】委員 井上 雅由、木村 宥子、熊野 磯一、本間 香貴、吉住 秀 [田中 浩]

TF 西上 ありさ

### <少子・高齢化>のいいところ

- 競争が少なくてすむ
- ゆったり暮らせる
- 世界的には、地球的にはプラス
- 土地が広くつかえる

### 日本のはじまりの地だからこそ

#### 平和のまち 奈良

- ◆平和のまちを魅力にして世界にPR
- ◆もっと平和を具体的にPRするまち
- ◆奈良は「平和」が似合うまちである。平和のまちを次の世代に残したい。
- ◆平和のために貢献した人が奈良にはたくさんいるので発掘するとか。

### <一生働けるまち>

- 定年のない仕事ができる
- 年をとっても働けるようになる
- 外国の人にとっては働けるチャンスが増えるかもしれない
- 医療や福祉の関係の仕事はなくなる（もうける機会が増える？）
- ◆老人は働けない
- ◆退職者層の社会協力（まちづくりに協力）
- ◆退職者の雇用（知識と技術継承）
- ◆シニア層の雇用（知識と技術の継承）

#### 【凡例】

- 魅力
- ◆ 悩み

◆企業誘致が弱い

### <高齢者が生活しやすいまち>

- 過疎地の活性化
- 空家の有効活用（高齢者住民の借上制度）
- ◆高齢者にとって歩きにくい道
- ◆高齢者が1人で出歩ける（バスのこと、プールのこと）
- ◆自転車事故発生
- ◆医療費を減らすためにも、高齢者を元気にしておく施策を
- ◆老人ホームの拡充

### <子育てしやすいまち>

- 1人1人が大切にされる
- まち全体で子どもを見守ることができる
- ◆子ども同士の遊びが少なくなる
- ◆さびしい
- ◆未来への希望がなくなってくる
- ◆どういう奈良で子どもを生きさせるかの理念の構築を
- ◆今生まれている子どもをとにかくきちんと育てる
- ◆行政の垣根をこえて子どもの保育について考えたほうがよい（奈良+京都）
- ◆教育委員会の職員に柔軟性が必要
- ◆保育園が少ない
- ◆保育料が高い
- ◆出生率は2.08がよいと思う

### <人材育成>

- ◆センスある職員の人材育成
- ◆行政の区分けをフレキシブルに考える方向をさぐる

- ◆税金は歳入の範囲のなかで考える（ハコモノを少なく）
- ◆財政の健全化（若い人に援助 ⇒ 税収の拡大）

# 第2分科会 魅力を生かすまちづくり

【参加者】委員 上野 登統、榎本 正範、小西 完治、澤崎 嘉造、谷 幸三、中川 徹、橋本 光男、濱 朝子、春田 稔、山本 善徳 T F 桐山 法子

魅力もってる！、見せる、見せ方工夫、わかりやすく、アピール、発信力

- 都市計画を市民の目線で
- 1300年前の都市計画に学ぶ都市

10年後の  
将来像  
決めること  
イメージ

## <市民誇りもつ>

- 市民の観光都市に住んでいるという意識
- 奈良市民が奈良市民であることを誇りに思える
- 奈良市民が奈良の歴史を理解している
- 市内の観光客（寺社・名所・旧跡等）を一目でわかる

資源あたりまえ  
↓  
恩恵感じない

- 住民と観光客がともに喜ぶまちづくり（おもてなし）

- 資金のある市にしたい（赤字は×）

## <歴史>昔から未来に続く

- 世界遺産を活かす世界に開かれたまちづくり
- 歴史を学べる都市
- 歴史、文化財が大切にされている
- 歴史都市なら 歴史のわかる展示・まち・都市の生涯（5千年、1万年?）
- 平城宮の復元の促進（古都のまち）平成21年を目標に国家と協働でプロジェクト（大極殿・朱雀門に続く）
- 奈良の文化伝統のわかりやすい施設が必要
- 持続可能な観光づくり
- 災害に強い都市づくり、文化遺産だけでなくバッファゾーン（周辺地域の地震・自然災害に強いまち）
- 新しい発想の平城京づくり（観光・都市計画・環境...）
- 奈良の魅力をつくる → 新薬師寺跡など発掘にお金を出す
- 地層?

- 景観の保全から活用・整備へ

## <つながり 道>

- 交通渋滞が減っている
- 歩いて安全・快適なまち...なら

資源  
豊富

## <緑が豊かにある>

- 奈良公園
  - 観光客（宿泊）が朝、奈良公園を散歩している
  - 奈良公園の自然を、四季を通じて観察できる場
  - 奈良公園に清流を
- 春日林
  - 春日原始林にツアーへ行きたい
  - 春日原始林みたい
  - 世界遺産の春日山原生林の保護と利用
- 美しい街路樹
  - 緑の多い都市（街路樹の剪定を考える）
  - 景観豊かな街路樹づくり
  - 強剪定していない街路樹の美しいまち（観光都市・古都）
  - フン害のない街路樹

- 自然・古都社寺のビューポイントを多くつくる

- お金をかけない自然保全

## <たくさん野外遊び場がある>

- 子どもたちも野外でのびのびと活動できる場づくり
- 近隣公園で子どもが遊べる

ポイントじゃなく、魅力ある市街地

## <ふつうの市街地を美しく>

- つながりあればよい
- 統一
- 現在の宅地開発 → 地形を変えない
- 池・川の周辺ぎりぎりの宅地開発は認めない（景観）
- 建築に色と形の規制を加える
- 奈良市内の商業看板が多い、景観が悪い
- ライトアップ（商業電気による光）をやめる
- 暗い、神秘性

## <水つুক্তた>

- 地域に残る古地図や奈良の都（京北班田図）を表す絵図に残るため池・川は残す
- 古都保存法を平城京に限らず市全体に広げる
- 河川の水質をよくして川で楽しく遊び場づくり

## <魅力とは？>

- 世界的にアイコンになる都市づくり
- アジア・日本からみた“奈良”
- 奈良観光の定義づくり
- 世界・日本から奈良市を考える → 魅力
- 奈良市独自の魅力でそこに住む市民が豊かになる（心を経済）
- 住んでいる“恩恵”
- 「なら」のイメージデザインコンペ
- 市民の未来に向かって期待し進む希望・勇気、未来に夢を描きたくなるような心を満たす内容を！
- 奈良の“鹿”“大仏”というイメージを変える。
- 奈良＝日本人の心（京都＝日本の心）と言われたい！！
- 奈良は日本の心、根本的な生きる力を学び、育み、“人”を受け入れ、発信する

## <魅力あれば>

- 観光客のリピーターが増える
- 外国人観光客が増える

# 第3分科会 活気のあるまちづくり

【参加者】**委員**阿部 智子、佐藤 正幸、新堂 順規、長谷川 庸司、畑中 忠司、吉田 俊夫、寮 美千子  
[赤尾 隆、友田 達郎、松森 重博] **TF**岡田 実成

本日決まったこと

## 【議論のテーマ】観光の産業化について考えよう！

本日は出し合い  
→次回に方向を！

### <宿泊の質を>

- 客層別（上・中・下クラス、人別）  
宿泊プラン／システム

### <観光の交通整備>

- 観光交通システム  
将来は**お年寄り**・**外国人**がターゲット
- ◆観光ステーション  
・ツアーの発着  
・インフォメーション
- ◆**自転車**（観光・レンタル・置場確保）
- ◆**電動アシスト自転車** 観光用

### <新しい資源 開拓>

- 鹿イベント!**  
子ども・学生・若者・お年寄り・  
外国人別プラン
- ◆**鹿仮装行列、参加型イベント**
- ◆**刑務所をジェルホテルに!**  
(安いドミトリー・個室)
- ◆**刑務所で奈良の特産物をつくる**

### <特産>

- ◆**農業**（産・食品・バザール）
- ◆**観光=工芸・特産リンクさせる**
- ◆**奈良産の農産物**  
レストラン・**ブランド**・直売

### <ガイド>

- ナイトカルチャー** 行政の支援を  
文化を楽しむ夜の観光
- 観光資源を活用する奈良の旅行会社**  
(奈良内のツアー企画)
- ガイドをボランティアから**  
プロのガイドへ
- ガイドの充実** → **ガイド産業**
- ◆情報の物語化
- ◆奈良時代に限らない歴史の都市を  
アピール

- ◆見る観光から  
体験する観光へ
- ◆**ツアーをプランニング**  
**コーディネートする人材**
- ◆モデルパターンの提出
- ◆案内板の充実
- ◆観光客にも地元客にも便利な店  
づくり

### <市民パワー>

- 市の職員が明るく積極的に
- ◆**市民パワーの活用**  
まんとくん  
しくるくん

- 市の職員が  
明るく積極的に
- ◆**技術、人づくり（若者）**
- 産学連携** 奈良女子大学
- ◆**大学生を生かす**

### <情報発信と国際化>

- 国際会議 文化・宗教・史跡
- 情報発信機能を付ける**  
特に海外向けヨーロッパ40%、英・独・仏
- 映像情報コンテンツの整備**
- 映像機能活用** 映画
- (マスコミ)奈良テレビ活用 世界に発信
- ◆**情報発信** ネット・パンフ

### <寺社をもっと活かそう!>

- 神仏習合のまち—奈良**
- 寺社の協力?と市政力**
- 大仏はダレの物?権限と責任!**
- ◆**宿坊** 寺の利用
- ◆**広場** 薪能・能・舞楽
- ◆**お寺産業?可能性と実現化**

### <まちを整備>

- ならまち等まちなみづくり**
- 商業ゾーンの見直し、旧ならまち、日常・高級**
- JR奈良駅前整備、つながりがない**
- 観光の産業化** 寺社の観光からまちなかの観光へ
- コミュニティのもつ資産を観光資源へ** (春日講・まんだら)
- 日本一古い大通り=奈良三条通り** (キャッチフレーズも必要)
- ◆**西部地区の商業化** 核

### <まちのイメージを創る>

- 工芸タウンなど** ◆**エコタウンモデル**

### <観光戦略>

- ◆**観光プランの戦略化!**  
(他にない強みを生かす)

【凡例】● 特に重要なこと ◆ 必要なこと

# 第4分科会 人をつくるまちづくり

【参加者】**委員** アダルシュ シャルマ、岡本 胤継、奥村 麻希子、北 良夫、小島 道子、笹部 和男、高松 典正、森口 哲也、山本 素世 [宮本 郁江] **TF** 醍醐 孝典

## ◆学校教育の充実

- ・十分な水準を確保できる体制の整備
- ・子どもにゆとりを。そのために先生がゆとりを。
- ・実体験に基づき考える力を育てる教育
- ・子ども評議員 Participation of Children, Children Council, Student Council
- ・英語をちゃんとやる。やるんだったらしっかり。Focus on English Education
- ・母親が働ける幼・保の整備
- ・自分のまちの魅力を学校教育のなかで考え、育てていく
- ・住民参加 ・地域の人から学べる
- ・公立学校の環境向上
- ・有償ボランティアの積極的活用
- ・体験を通じて学べる
- ・奈良っ子を育てる学校

## ◆社会教育の推進

- ・市民意識の育成
- ・地域参画へのスキルアップ

相互に関係

## ◆自治会・地域コミュニティの再構築（新たな形での展開も）

- ・住民同士の対話・交流が盛んなまち（世代を超えて）
- ・地域住民が相互協力・扶助できるコミュニティ
- ・若い人が積極的に地域づくりに参加
- ・自分の住んでいるところへの愛着がもてる
- ・地域住民が集まりやすい場所の確保
- ・新しい組織づくり
- ・テーマを意識した活動
- ・発展する組織づくり
- ・つながりを感じられる
- ・多くの住民が積極的に地域に関わるまち
- ・外国人の社会参画 More International minded Accepting foreign peoples ideas
- ・顔なじみのいる地域
- ・ご近所の底力
- ・先進的な活動の紹介
- ・地域でまとまる組織ではなく、もう少し広い場から、考え方（ミッションなど）で新しい組織を作る
- ・分野別リーダーの発掘
- ・各組織・団体同士の横の連携を活発に

## ○市民意識の醸成

- ・奈良に愛着を持った市民が育つ
- ・地域の共同作業
- ・すべての市民がすべての子どもを育てる意識を持つ
- ・奈良の良さを語る市民
- ・活動できる分野

## ○人材育成の推進

- ・社会、世の中に目を向ける人を育てる
- ・リーダーの発見・発掘

## ○スポーツの振興

- ・支えあい、励ましあう
- ・市民が1つになるものをもつ 例えばプロサッカーなど
- ・競技としてのスポーツではなく、年齢を超えた多くの層が交わる場づくり（例 児童公園での基礎体力づくりの施設）

## ○その他

- ・楽しい行事
- ・ネットワーク
- ・市域全体での対話の場

目標

手段

# 第5分科会 住みやすいまちづくり

【参加者】委員 北浦 由香、四反田 喬典、田北 ますみ、反田 博俊、中西 輝、濱 恵介、松永 洋介  
[北野 剛人、サマン ペレラ] TF 山崎 亮

**<コンパクトシティ>** ●コンパクトシティをつくる  
◆都市軸がない

## マイカー規制

- 車を持たずに無理なく暮らせるまち、シェアリング、公共交通
- 奈良市内から車（ガソリン・ディーゼル）通行禁止
- 観光シーズンの車の乗入規制
- パークアンドライド ●カーシェアリング
- 循環道路にバス・タクシー専用レーン、  
全体は左回り一方通行化 大森町→県庁東のみ右回りも設定
- 市内の通過交通を抑制するため、外周に車を回す
- ◆渋滞の排除→救急迅速化、マイカー抑制、流入規制、  
レーン規制、パークアンドライド

## LRT

- 路面電車（天然ガス）
- 市内循環バス通りにLRTを走らせる。（車の追放）
- LRT 路面電車  
①奈良中心部を循環 ②主要な郊外を結ぶ

## 歩道

- 住みやすいまち → 安全・安心 → 歩いて楽しいまち
- 道は歩行者最優先に、歩道・車道の分離をやめる
- 歩道の整備 ●一条通り歩行安全化

## 自転車

- 自転車道整備、バス専用レーン、カーシェア、ノーマイカー
- 自転車、自転車レーン一般道、駐輪場設置
- レンタサイクルの充実

## 大規模SC

- ◆大規模ショッピングセンターをなくす

車が減る時代だから

## <道路の地下化>

- ◆京奈和自動車道 大和北道路地下トンネルを着工しない

### 【凡例】

- 将来こんなまちになって欲しい
- ◆ 将来はこれを無くしたい

## <火葬場>

- 自慢したくなる火葬場を都心につくる

- 25%

- 環境のトップランナー、CO<sub>2</sub>削減 25% NO1
- 2020年までにCO<sub>2</sub>排出量 25%減らす

- ノーマイカーで楽しく暮らす、ライフスタイルを変えよう

## <エネルギー自給> 安全にもつながる

- バイオマスエネルギーの活用
- パッシブソーラー環境容量の多い水を使ったもの
- マイクロ発電の購入、バイオマス発電、マイクロ水車、マイクロ風車、ソーラーパネル、エネルギー自給
- 日本の屋根(瓦)になじむ太陽光発電モジュール
- 公共施設のソーラーパネル設置義務化
- 都市のエネルギー自給(率)を高める (ソーラ…PV、熱、バイオマス…緑のゴミ)

- 少しのエネルギーで楽しく暮らす

## <エコタウン>

- 都市としての一体感がもてるようにする
- 住みやすいまち→空気がおいしい →緑の多いまち 落葉樹を伐らないで!
- 里→都 バイオマス活用  
山←市 地産地消

- 災害にも強い里山と都市がつながる

## <エコビレッジ>

- エコビレッジ、自給自足、食物・エネルギー
- 雨水利用の拡大
- 浄化槽の普及
- 地域通貨
- シェアリング、物々交換
- 江戸時代エコロジー学ぶ

## <エコパーク>

- 奈良市内全体を自然アミューズメントパークにする
- 里山エコツアー体験ツアー ●春日山原始林ツアー
- ◆鹿の頭数抑制（鹿せんべいのノーカロリー化）奈良公園、春日奥山を保全する

## <景観>

### ならまち

- ならまちの景観統一、厳しい規制をかける
- 世界遺産の地上部の鉄軌道を撤去する

### 樹

- 街路樹の丸刈りせん定をとめる

### 電柱

- 電柱の地中化
- 美しいまちに→無電柱
- ◆電柱電線がみにくい
- ◆電線を地下に
- ◆電柱・電線地中化→深く埋める、電磁波被害コワイ
- ◆幹線道路沿いの大規模商業・業務施設 ×みにくい

### 高層ビル

- 建築物の高さ制限を更に厳しくする（東部）
- ◆高層ビル、高層マンション（圧迫感、景観破壊、不必要）やめる

### 光

- ◆光害抑制、水平から上への光の乱射を禁止  
エコノミー、エコロジー

### 看板

- 市内看板の色コードの統一
- ◆看板をなくす

**第6分科会  
市民と行政とのまちづくり**

【参加者】委員 植田 正博、武村 俊宏、多田 充朗、  
田中 保夫、村田 勝彦、元島 満義、  
渡邊 新一 TF 六本木 晃夫

